

製品名: ZNRF2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20294**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ZNRF2
別名	ZNRF2; RNF202; E3 ubiquitin-protein ligase ZNRF2; Protein Ells2; RING finger protein 202; Zinc/RING finger protein 2
遺伝子 ID	223082.0
SwissProt ID	Q8NHG8
免疫原	抗血清はヒト ZNRF2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

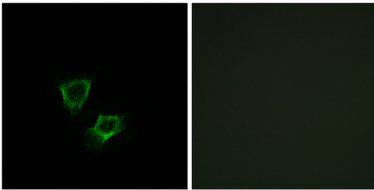
ドメイン: RING 型ジンクフィンガードメインは、E3 リガーゼ活性に必要です。機能: ユビキチンリガーゼ活性を介して、神経伝達と可

塑性の確立と維持に役割を果たす可能性があります。E3 ユビキチンリガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、その後、ユビキチンを標的の基質に直接転送します。経路:タンパク質修飾; タンパク質ユビキチン化。PTM:DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。類似性:1 つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。細胞内局在:ニューロンのシナプス前細胞膜に存在します。サブユニット:UBE2N と相互作用します。組織特異性:脳で高く発現し、成体よりも発達期に高く発現します。乳腺、精巣、結腸、腎臓にも発現しています。ドメイン:RING 型ジンクフィンガードメインは、E3 リガーゼ活性に必要です。機能:ユビキチンリガーゼ活性を介して、ニューロンの伝達と可塑性の確立と維持に役割を果たす可能性があります。E3 ユビキチンリガーゼは、E2 ユビキチン結合酵素からチオエステルの形でユビキチンを受け取り、次にそのユビキチンを標的の基質に直接転送します。経路:タンパク質修飾; タンパク質のユビキチン化。PTM:DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性:1 つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。細胞内位置:ニューロンのシナプス前細胞膜に存在します。サブユニット:UBE2N と相互作用します。組織特異性:脳で高く発現し、成体よりも発達期に高く発現します。乳腺、精巣、結腸、腎臓でも発現します。

研究分野

細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; プロテアソーム/ユビキチン; ユビキチン E3 酵素; RING フィンガー E3 リガーゼ

画像データ



ZNRF2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。